

福東地区の遊歩道

皆さんが住んでいる熊川の、すてきな場所を紹介していくコーナーです。
住んでいても、意外と知らない所があるかも？
今回は、熊川分水に親しむ会の石毛和夫さんにお気に入りの場所を紹介
していただきました。



拝島駅の北口を出ると玉川上水にかか
る平和橋があります。その下流50メートル
ほどの左岸に殿ヶ谷分水の取水口が残っ
ています。

殿ヶ谷分水は江戸時代中頃の享保5年
(1720年)に開削されて宮沢・中里・殿
ヶ谷新田(現在の立川市西砂地区、昭島市
美堀地区)の開墾に利用されました。

役割を終えた殿ヶ谷分水は埋め立てら
れ、今は福東地区を貫く遊歩道になっ
ています。

福東公園からリサイクルセンターにか
けての遊歩道は、林の中の道が続きます。

春は新緑、夏は涼しい木陰、秋は足元の
落ち葉、冬は木々の間を吹き抜ける木枯ら
し、と様々な表情が一年中楽しめます。

歩きながら左右を見れば、素掘りの殿ヶ
谷分水の土手の跡が高さ1メートルほど
残っている様子も確かめられ、僅かながら
も分水の歴史を感じることができる場所
です。

(文・写真 石毛和夫)

